

○取組評価及び総合評価一覧表（令和５年度）

	基本目標 1			基本目標 2			基本目標 3			基本目標 4			基本目標 5			基本目標 6			基本目標 7		
	取組評価		総合 評価	取組評価		総合 評価	取組評価		総合 評価	取組評価		総合 評価	取組評価		総合 評価	取組評価		総合 評価	取組評価		総合 評価
	担当	会議		担当	会議		担当	会議		担当	会議		担当	会議		担当	会議		担当	会議	
1	A	A	A	C	C	B	B	B	A	A	A	A	A	A	A	B	B	B	A	A	B
2	B	B		A	A		A	A		A	A		A	B		B	A		A		
3	A	A		A	A		A	A		A	A								B	B	
4																				B	

○総合評価に対する説明や委員の意見について

【基本目標 1】共に支え合うまちづくり

総合評価	総合評価に対する説明や今後の取組
	新型コロナウイルス感染症の蔓延により、取り組みができなくなった部分があるが、着実に状況は改善してきている。また、地域福祉活動の推進や福祉への意識と関心が図られていることから総合評価をA評価とした。 小地域ネットワークの見直しの動きが出ているため、活動の広がりを期待する。
A	委員の意見（抜粋）
	・包括的な支援体制の構築には、交流や参加の機会を生み出すコーディネート機能の強化、住民同士が出会い参加することのできる場や居場所の確保の取り組みが必要である。 ・小地域ネットワーク活動が実施できてない町内会に対し、活動に対する理解を図る取り組みが必要であり、社協（きずな）と連携し、全市展開を図る必要がある。

【基本目標 2】のびやかな人生が息づくまちづくり

総合評価	総合評価に対する説明や今後の取組
	長寿社会の基盤づくりの項目で取り組みが不十分な点があるが、各目標を全体的に勘案した結果、総合評価をB評価とした。 社会福祉協議会では、権利擁護の支援を充実させるために組織体制を構築していることから、さらなる高齢者福祉等の充実が図られることに期待する。
B	委員の意見（抜粋）
	・成年後見事業は、適切に必要な支援につなげるための地域連携が不足していると思われるため、権利擁護支援の地域連携ネットワークの整備が急がれる。 ・はいかい訓練は、市民の興味を引き、市民理解につながるものと考えられるため、実施回数の増加を望む。

【基本目標 3】健康を守り育てるまちづくり

総合評価	総合評価に対する説明や今後の取組
	生活習慣病予防の普及啓発や自殺対策の強化などを求める声があり、各委員の評価が分かれているところであったが、総合的に判断し、A評価とした。 生活習慣病予防対策を推進することで病気を未然に防ぐことができるので、更なる取り組みの強化を望む。
A	委員の意見（抜粋）
	・各種検診等の受診勧奨を推進し、フレイル予防に力を入れていただきたい。 ・循環器の病気に関する注意喚起が十分と言えないため、受診勧奨を進めて欲しい。 ・自殺防止対策は、啓発・相談等、限られた取り組みになっている。 ・市内で自殺が起こる場所での対策を望む。

【基本目標 4】やさしさに満ちたまちづくり

総合評価	総合評価に対する説明や今後の取組
	それぞれの項目について計画の内容に沿って目標どおりに進んでいるため、総合評価はA評価とした。 現在の取り組みを継続して実施していくことが大事であるが、その中でも、更に取り組みを推進できるものを見つけ、実施していくことが肝要である。
A	委員の意見（抜粋）
	・認知症や障がいによって判断能力が不十分な方に対する金銭管理や福祉サービスの利用支援を受けている方々が、徐々に判断能力が低下することにより成年後見制度へのスムーズな移行ができるよう、切れ目ない支援ができるような取り組みが必要である。 ・引き続き、市民に対して、障がいについての理解促進に努めていただきたい。

【基本目標 5】安心して子どもを生み、健やかに育つまちづくり

総合評価	総合評価に対する説明や今後の取組
	昨年度はB評価であったが、児童虐待の防止に係る取り組みの体制が構築されてきたことを踏まえ、総合評価をA評価とした。 子育てに関する施策は難しいところであるが、人口減に直結する課題の一つであるため、早急に対策を講じていかななくてはならない重要な分野となる。
A	委員の意見（抜粋）
	・乳幼児や児童を育てる保護者への施策がほとんどで、中学生や高校生を育てる家庭への施策が必要と考える。 ・子育て世帯や保育施設の声、子どもに携わっている人たちの声を聴いて、根本的にどうすれば安心して子どもを生めるのかを確認していくと更に目標に近づける。

【基本目標 6】男女が共に参画するまちづくり

総合評価	総合評価に対する説明や今後の取組
	目標に向けて、取り組みの強化が必要であることから総合評価はB評価とした。 男女共同参画の浸透やLGBTについての正しい認識と理解には、これまで意識してこなかった者には内容が難しく、意識改革に時間を要するものと思われるため、取り組みを継続して浸透させていかななくてはならない。
B	委員の意見（抜粋）
	・小中学校で実施されている「男女共同参画社会に向けた作品募集（習字、標語）」については、一定程度効果が認められるため、今後も継続した方が良い。学校現場では、男女混合名簿、混合整列、人権学習等、LGBTQ理解に関連する教育活動が進んできている。 ・被災時の避難所運営には、女性リーダーが必要であり、女性リーダーの養成研修が必要である。

【基本目標 7】安全で安心して暮らせるまちづくり

総合評価	総合評価に対する説明や今後の取組
	4つの項目があり、十分な取り組みができているものもあれば、まだ、不十分な取り組みもあるため、総合評価はB評価とした。防災体制の整備は進んでいるが、災害時の避難には道路や建物のバリアフリーの問題があるなど課題は山積している。闇バイトなどの新たな犯罪が発生しているので、地域での防犯に対する意識向上が重要である。
B	委員の意見（抜粋）
	・令和6年5月に登別地区更生保護地域支援連絡協議会が組織されたので、罪を犯した対象者の立ち直りや社会復帰に向け、各機関の連携・支援を期待する。 ・様々な理由で就労できない人やその親の相談場所の充実を望む。就労自立に向けての支援が困っている人達に届くような取り組みが必要。